

新たな年を迎え、今日から3学期です

みなさん、本年もよろしくお祈りします。

3学期が始まりました。しばらくひっそりとしていた学校に子どもたちの元気な声に戻ってきました。今回は、本日の始業式で話したことをご紹介します。

令和3年1月7日 校長 中谷 一志

=====

3学期の最初に、三つの話をします。

一つ目は、挨拶についてです。毎朝登校するときの安全を見守ってくださっている「見守り隊」の方から、「最近、宮園小の児童の挨拶がとても良くなってきた」「進んで先に挨拶する児童が増えて、気持ちがいい」など、お褒めの言葉をいただきました。校長先生も時々朝校門に立ちますが、寒い朝、元気に進んで挨拶をしてくれると、寒さを忘れて元気になります。たまに、小さな声でボソッと行って通り過ぎる人もいますが、その時は逆に少しさみしく感じます。

このように、挨拶は、ただすればよいというものではなく、そのやり方によっては相手の気持ちを元気にもさみしくもさせるのです。皆さんには、この3学期、これまで以上に素敵な挨拶ができるように頑張ってもらいたいと思います。自分も相手も元気になるような素敵な挨拶が学校や地域のあちこちで、たくさん聞かれるようにしましょう。

二つ目は、新型コロナウイルスに感染しないための行動についてです。今、日本全国で新型コロナウイルスに感染する人が急激に増えています。

6月に学校を再開してから、「新しい生活様式」の話を何度もしてきましたが、皆さんはきちんとできていますか。今朝、きちんと体温を測ってきましたか。寒かったけど、教室に入る前に手洗い・うがいをしましたか。皆さん、この3学期は、2学期よりももっと「新しい生活様式」での行動がきちんとできるようにしましょう。

三つ目は、宮園小の学校教育目標の「自分を育て みんなで伸びる」についてです。

「自分を育てる」について、皆さんが成長する上で最も大切なのは、自分自身が、知りたい、分かってほしい、できるようにしたいと思うことです。自分から学ぼうと思うこと、自分で育とうと思うことが何よりも大切です。

3学期は、自分を育てるために、自分から進んで学ぼうとする、自分からいろいろなことに挑戦、チャレンジしようとする気持ちをもって生活や学習をしましょう。

「みんなで伸びる」もとても大切な言葉です。宮園小にはいろんな人がいます。皆違います。そして、一人一人違う皆さんと一緒に学ぶからこそ、一人で学ぶよりも何倍も楽しく、分かるようになったり、できるようになったりするのです。皆さんは、友達との生活や学びを通して、助け合い、更に伸びることができるのです。

ただ、悲しいことに、宮園小の中にも、皆で伸びようとしているのに、悪口を言ったりして、みんなが伸びようとするのを邪魔する人、邪魔する行動があります。悪口や暴力は、皆で伸びようとする宮園小には必要ありません。

では、どうしたらいいのでしょうか。自分がされて嫌だと思うことは、友達にしなければいいのです。「自分がされて嫌なことは人にしない」、一人一人がこれをできれば、宮園小はもっと皆が伸びることができる素敵な学校になります。

ここまでの校長先生の話聞いて、「あれ、三つ目の話、前にも聞いたことがあるような気がする」と思った人がいたら、その人はとてもすごいです。なぜかと言うと、今の話と、ほとんど同じ話を2学期の始業式にもしたからです。前にも聞いたことがあるなと思った人は、その時の話をしっかり聞いていたということになります。

でも、「校長先生、なぜ2学期と同じ話をするのでですか？」と疑問に思った人もいます。「違う話はないのですか？」と言われそうですが、同じ話をした理由は簡単です。「自分を育て みんなで伸びる」という目標には、皆さんが成長していく上でとても大切なことが、短く、分かり易く書かれています。そういう大切な目標ですから、皆さんに、繰り返しお話したのです。きっと、これからもまた同じような話をするだろうと思います。

最後に、お知らせです。3学期も「宮園小チャレンジ・コンテスト」、やります。第3回です。「自分を育てる」ための一つの機会として、第2回よりもっと多くのチャレンジが増えたらいいなと思っています。特に、高学年から応募が増えることを期待しています。

では、皆さん、学年最後の3学期もしっかり「自分を育て みんなで伸び」てください。